

「第3回みちのく潮風トレイル青森県八甲田山～岩手県宮古浄土ヶ浜」第2弾報告

2018年9/28夜～10月/1日

県連自然保護委員会 瀬下

参加者各ブロック参加 23名

西部ブロック 14名

紅葉の八甲田山とみちのく潮風トレイル

参加者23名、4ブロックすべてからの参加者があった3回目のみちのく潮風トレイルツアーが無事終了しました。紅葉の八甲田山、砂浜が広がる種差海岸や奇岩が美しい浄土ヶ浜、地底湖が素晴らしい龍泉洞等々、北東北の魅力を皆さん十分にお楽しみいただけたのではないかと思います。労山の仲間が会を超えて集い、交流しながら山歩きをする…。山に行く形体は個人やグループ、そして各山の会での山行と様々ですが、こういった山行ができるのも労山の大きな魅力だと思います。交流という面では、私が一押し、八戸市の八食センター(大きな市場)で新鮮な魚介類を買い、その中の炉端焼のお店で焼いて食べるミニ宴会は大変好評で、私としても嬉しく思いました。各会の皆さんとの交流と、震災の復興支援としてのみちのく潮風トレイルのツアーを、今後も実施していきたいと思います。来年は、早池峰山とみちのく潮風トレイルの中でも屈指の名勝、北山崎と碁石海岸の旅を予定しています。興味のある方は是非ご参加ください。

今回のツアーでは、最後にバスがパンクするトラブルがあり、参加した皆さんにはご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫びいたします。バスにつきましては値段等を考慮して再考したいと思います。自然保護委員長 瀬下啓司



みちのく潮風トレイルの方には、初めて参加させていただきました。生憎の天気でしたが、コースの一端にふれることができよかったです。ロングトレイルを歩くのが好きな者としては、いつか通して歩いてみたいものです。(定年後かな…)そこまでいなくても、花の綺麗な初夏の頃に今回の様に東北の山と合わせて訪れてみたいとも思いました。

八甲田山も、雪のない時季は初めてでしたが、毛無岱の紅葉にバッチリタイミングが合ってよい旅でした。

みちのく潮風トレイルの方は楽しむことがメインの企画だと思いますが、今回でいえば3日目などは震災の様子をうかがい知れるようなポイントなども訪れても良いかな、と思いました。

熊谷トレッキング同人 木村 哲也

みちのく潮風トレイルは気になっていたコースなので、参加できてよかったです!(種差の芝地の植生等、興味深く歩きました。)

私は県北の秩父アルペンクラブにいるので、県連の人たちとの交流の機会があまりありません。北部の中でも地域的に広いので交流の機会は清掃登山くらいです。今回は熊トレのみなさんに合流して、羽生まで秩父鉄道で来て参加できました。

瀬下さんはじめ、みなさんにはお世話になり、ありがとうございました。

秩父アルペンクラブ 飯塚 明

第1日目は晴天にめぐまれ八甲田ロープウェーにて頂上駅より歩き始めました。草紅葉と一面の黄色と所々の赤は素晴らしいものでした。久々の山歩きで不安はありましたが、自然の美しさに励まされ、赤倉岳から大岳へと登り下りを繰り返して、酸ヶ湯温泉に着いた時は達成感に満ちていました。炉端焼きでの交流も思い出の時となりました。

第2日目のいよいよみちのく潮風トレイルは、小雨の中でしたが頑張りました。道は整備されて歩きやすく、太平洋の海辺を身近にしながら歩くことができました。雨も又良しです。

第3日目は浄土ヶ浜の海岸を歩き、お昼は地元の魚介類や井に満足。帰路につきました。

下見から計画立案そして実施と、細かい所にまで配慮された県連の理事・瀬下氏にお礼申し上げます。ありがとうございました。おつかれ様でした。

北本山の会 武藤 紀子



今回の旅へのひとこと感謝の弁。県連主催の行事への参加は初めてです。みちのく秋田出身の私には両親も亡くなり行く機会も無くなり、故郷は遠くにありて想うもの…の心境です。

今回のルートは1日目青森八甲田山から始まりました。晴天に恵まれ、今年初めての紅葉を楽しみました。2日目は雨天でしたが、種差海岸は岩肌に咲く菊との調和が見事で、新鮮で可憐な姿でした。その後は八戸の八食センターでの新鮮な魚介類の炭火焼きに舌つづみを打ちました。3日目は行いがよかったせいか晴れ間が広がり、龍泉洞の神秘と浄土ヶ浜の「カモメと崖と潮騒」のコントラストに目を奪われました。

こうした素敵な旅の計画をしていただいた瀬下部長他同行の皆さまに感謝!!感謝!!感謝!!です。

三郷山の会 佐々木 陽子

